

どすこいかわら版

発行 墨田区 編集 NPO法人て一ねん・どすこい倶楽部

「昭和音楽の流れているヘアースタジオ」取材

石原4丁目に、おもしろい床屋さんがあるという情報を得て、早速訪ねてみました。迎えてくれたのは、昭和35年生まれの伊藤貞利(いとうさだとし)さんと女性ボーカリストの大倉まゆみさんでした。



た。入口には、「昭和おんがく館」という看板が出ている。お店に入ると直ぐ目に入るのは、理容椅子が1脚あり、待合室は無いので、すべて予約制となっている。その奥の部屋へ進むと、まるで楽器屋さんのように、各種ギター、バンジョー、ウクレレ、三線(さんしん)、アコーディオン、バイオリン等が、壁いっぱいには掛けてあり、部屋の一角に

は、一通りの音響装置が小さなミラーボールと共に、設置してある。早速、お話を伺いました。

Q1 生い立ちについて教えてください。

自然に恵まれた千葉県鴨川に生まれ育ったので、子供の頃は特に川釣りが好きでした。あまり勉強は好きでなかったのですが、親の勧めで普通高校に進みました。

Q2 理容師になるきっかけは何ですか？

父親の仕事を見て育ったので、高校在学中に、並行して理容専門学校の通信課程で理容師になるための勉強をしました。理容専門学校を卒業して1年後に理容師免許を取得し、4年間の修行を経て、職人として数軒のお店で経験を重ね、最終的には、墨田区で理容師として独立しました。

Q3 音楽を始めたきっかけは何ですか？

私が5、6歳の時に、姉がよくラジオで音楽を聴きながら勉強をしていたので、いつの間にか、そのメロディーが好きになってしまいました。その時に流れていたのは、テンプターズとかタイガースのグループサウンズの音楽でした。井

上陽水の「夢の中へ」も大好きな曲でした。楽器は、中学生の時に初めてギターを独学で学びました。

Q4 3人組で演奏している写真がありますが、いつから演奏活動しているのですか？

男性は私と都久山浩(つくやまひろし)さんで、30年間二人組として演奏活動してきました。5年前に女性ボーカリストとして、こちらの大倉



まゆみさんが加わり、それ以後は三人組として、ライブハウスやディサービスでも演奏活動をしています。今後、ボランティアとして演奏活動もしたいです。

Q5 主に、どんな曲を演奏を

しているのですか？
演歌からフォークソング、



Q6 最後に本職の理容師さんとして、高齢者に一言、助言をお願いします。

女性の方は、年齢に関わらず、おしゃれというか、美意識が高く、施設に居る方々も同様に理容師のサービスを喜んでくれますね。一方、男性の方は、忙しいのか、気にしない性格の方が多いのかもしれないですが、普段、誰が訪ねてきてもいいように、髪も顔も整えておいてほしいとおもいます。

(記者の独り言) 確かに、もう少し身だしなみに気を付けねば)

ヘアースタジオ・ピース
墨田区石原4-22-9 フクハラビル1階
予約制 電話: 03-3622-1137
携帯: 090-3965-6773
Email: shouwaongakukan@gmail.com

お母さんはケーキ屋「押上店の開店」その13 山谷 いく

11時、入り口の透明ガラスドアを、マスターと呼ばれるようになった夫が押し開ける。三名の女性店員が「いらっしゃいませ」華やいだ声で客を迎え入れた。奥の厨房から首を伸ばし一番乗りの客を見る。喫茶室横のショーケースの前に立つ5、6人の客は以前からの馴染みの客である。厨房から出て行つて挨拶の思いはあつても、そばのガンちゃんも次の仕事の指示を待っている。喫茶とケーキ販売は愛想のいいマスターにまかせることにした。喫茶部の賑わいをよそに、厨房の三人は翌日の仕込みに掛かる。昨日とは違い手順の説明などは必要もなく私の指示だけで空回りすることもなく黙々と手が動く。

奥の事務所で遅い昼食を済ませて厨房に戻ると、あれだけ賑わっていたショーケースの前には客が一人もいない。夫は待ち兼ねたかのように駆け寄つて来て、厨房のドアを開けるや否や、「完売だぞ！」思わず、私はガンちゃんの顔を見た。ガンちゃんは「早いっすね！」と厨房に掛かっている時計を見ている。「早かったね」私も同じことを言っていた。時計の針は2時5分前を示していた。その後に来た客は仕方なくコーヒなどを飲んでいく。如才のないマスターはケーキ作りのいろはも知らないのに、「うちは材料にこだわっているんで食べてみれば美味しさが分かりますよ」と「そうね、他とは生クリームが違うわよ、孫がこちらのケーキじゃないと食べないのよ」客の誉め言葉を真に受け、夫は

益々雄弁になり、「うちの生クリームは中沢乳業というトップメーカーの一番上等な生クリームだけで作ってますから」などと、語尾を強める。(もう、やめなさいよ)と夫の口にガムテープでも貼り付けてやりたい思いが顔に出て、おそらくは物調面をしていたのだろう。マスターはいい人だけど、ママさんは怖くて愛想がない人、に定着した。

今日も難易度の高いチーズケーキの仕込み時間となった。パートの女性が帰ってガンちゃんと二人でミキ

サーを回し始める。洗いをしながらふつと考えた。爆発するケーキ、火山のようにマグマが上昇して破裂する、温度だ! 「ガンちゃん、今日は160度にして!」ガンちゃんにはミキサーのハンドルを回し掛けたが、えつ、と言うような顔をしたかと思つたら、そう、そう、もしかたないと言われないが、「ハイ!」力強い返事。二人は代わる代わるオーブン覗き見る。タイマーが1時間半の終了時間をグウグウと知らせる。湯を張った容器を手前に引き覗き込む。二人で同時に「やうり。ガンちゃん160度だったんだね」ほつとしたのかガンちゃんも笑顔で「成

功つすね」焼く温度が170度から10度下げただけのことだった。厨房の電話が鳴った。ガンちゃんの友人かららしい。いつもは口数も少なく、あまり大声で喋らないガンちゃんなのだが喫茶席にいるマスターにまで聞こえるほどの声で、「なんだってさ、2時には売り切れる店にからさ、大変なんだよ」何度も大変なんだよ、を繰り返して言う割には満面の笑顔である。夫の集計によると、開店当日の売上額は17万8200円だった。その内訳は喫茶が2万円でケーキは15万円と予想以上の金額で、売り上げを伸ばせるとにらんだ。

手軽にクッキング

114

<4月のお惣菜>

「サバ缶みそそぼろ」

<材料：サバ水煮缶1缶分>

サバ水煮缶	1缶
ゴボウ	50g (1/3本位)
生姜	1片
ごま油	大さじ1
みそ	大さじ2
砂糖	大さじ1
酒	大さじ1



<作り方>

1. サバ缶は缶汁を切る
2. ゴボウは皮をこそげ取り、粗みじんに切る
3. 生姜はみじん切りにする
4. 鍋にごま油を熱し、2のゴボウ・3の生姜を1分ほど炒める
5. 1のサバ缶を加えて、ほぐしながら炒める
6. 5にみそ、砂糖、酒を加えて、水気がなくなるまで更に炒める
7. 器に盛付けてできあがり

◆料理教室のメニューから。缶詰を使うと青魚が食べやすいですね。ご飯やうどん、豆腐、ゆで野菜の上にかけて、召し上がってください。サバ缶の大小で、調味料を加減してください。

(協力：食育支援部)

「言葉が通じたら」

1月に、2年半ぶりにポーランドのグダンスクから成田空港へと飛行機で乗換時間を入れて約20時間近くかけて娘の婿様が娘と共に



来日しました。東京で会議があるとかで、(職業は大学教授、経済学者) 予定は10日間で、最初の5日間はホテル宿泊との前触れでしたが、いざいしたら、ここが一番と言って、我が家に泊まることになりました。国際結婚ではない娘夫婦であれば気遣いなどしないのですが、婿様は外国人で、私は外国語が全然駄目なので、通訳をしてもらいながら、お布団やらタオルやら、いろいろと準備をしなければならぬので、私が一番気を使ったようです。

あきば えいこ
秋葉 榮子

まず、ご無沙汰の挨拶にハグと頬にキスと、私には馴れないことに始まりました。心の中で我慢がまんと思いつながら一緒に荷物を広げました。我が家に同居している息子夫婦と孫への土産は、よくこんななトランクに詰めて来たと思うほどの量で、インスタントのスープの素などまで入っていました。私は前もって高価な土産はいらないと遠慮していたところ、好きなチョコレートを頂きました。

接待の第一に食事のことですが、食品は同じでも味のつけ方が異なるので肉やスープなど娘がポーランド風に味付けをしたり、気を使っていたいました。普段の食事は残らないようにと作っていますが、婿様はよく召し上がるので余るぐらに出すことにしました。いつもいざという時、日本らしい食事をご馳走するので、何処が良いかと、いろいろ探して、上野の山の韻松亭(いんしょうてい)の和食にしました。私も初めてでしたが、とても美しい盛合わせで日本的で部屋も座敷で料理も美味しく喜んでくださいました。後日、中華料理もとても美味しいとおっしゃっていました。ポーランドに、日本で修

行した人がラーメン屋を出しているそうですが、全然味が違っていると言っていました。お刺身も量は少しですが、日本の生魚の鮮度に驚き、とても美味しいとのこと。毎日のお風呂のことですが、朝起きてすぐシャワーでした。会議に出かけるときは娘が案内して通訳などを嫁として務めたようです。そのお陰で日本の大学の先生を紹介していただき、珍しい方と知り合ったりしたようです。

休日、同居している息子と2人で日本橋や銀座など買い物を見物をして、日比谷の松本楼(まつもとろう)や銀座でお茶を飲んだりして、楽しかったようです。浅草

はいいつも観光客で賑やかですが、下町の面白さがあってお土産なども買いやすいと楽しんでいました。秋葉原のヨドバシカメラでポーランドの孫に玩具を買っていました。さすが数も多く良い物ばかりで日本の物の豊富さに驚いていました。娘も通訳をして相変わらず嫁の務めをしていました。婿様は5か国語が解るらしいのですが、日本語は難しいので駄目とのことですが「ありがとう」はよく言っています。

まさか、娘が外国人と結婚するとはゆめゆめ思ってもいませんでしたが、こんなに言葉で苦労するとも思っておりませんで

した。やはり婿様の帰られる時も、ものすごい力でハグされ(感謝のせいかな?) 頬にキスされ「ありがとう」と何度も言いつて帰って行きました。10日間の気疲れで、無事帰られた後、3日くらいは何もし

いた。やはり婿様の帰られる時も、ものすごい力でハグされ(感謝のせいかな?) 頬にキスされ「ありがとう」と何度も言いつて帰って行きました。10日間の気疲れで、無事帰られた後、3日くらいは何もし



「シニア人材バンク 登録者募集中」

ボランティア活動をしたい方の登録と依頼に応じた派遣を行っています。

パソコン、麻雀、将棋、子育て支援、日本語支援、家事援助、生活支援、健康教室のお手伝い、各種講座、講演会の企画から会場の準備作業など、どなたでも気軽に参加できる、さまざまな活動を行っています。

皆様の知識、経験、特技、趣味等を地域で活かしてみませんか?

新型コロナウイルスの集団発生防止にご協力をお願いします

密を避けて外出しましょう!

①換気の悪い 密閉空間



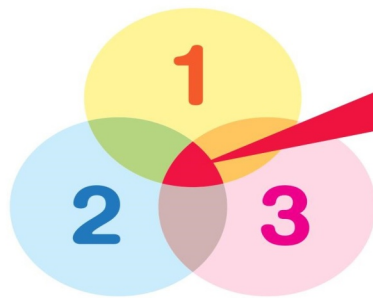
②多数が集まる 密集場所



③間近で会話や 発声をする 密接場面



新型コロナウイルスへの対策として、クラスター(集団)の発生を防止することが重要です。
イベントや集会で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。



3つの条件がそろう場所が
クラスター(集団)発生の
リスクが高い!

※3つの条件のほか、**共同で使う物品**には
消毒などを行ってください。

首相官邸
Prime Minister's Office of Japan

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

厚労省 コロナ

検索



発行 墨田区福祉保健部高齢者福祉課
〒130-8640 東京都墨田区吾妻橋1-23-20
電話 03-5608-6168 FAX 03-5608-6404

編集 NPO法人て一ねん・どすこい倶楽部
〒131-0032 東京都墨田区東向島1-17-8
電話 03-5631-2577 FAX 03-5631-2578
(受付時間: 平日午前10時~午後4時)
メール tehnendosukoiclub@jcom.home.ne.jp
ホームページ <http://tehnendosukoiclub.jpn.org/>

4月に来日する予定だった知人の米国人親子は、残念ながら新型コロナウイルスによる旅行制限で、来られませんでした。オーストラリアの友人家族は、アパートに10日間も閉じこもっているそうです。私達も、そうならないように、気をつけましょう。